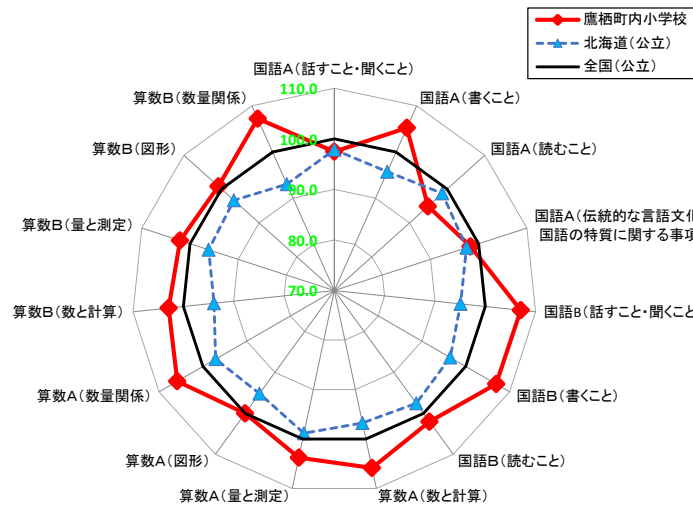


■鷹栖町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:92名)

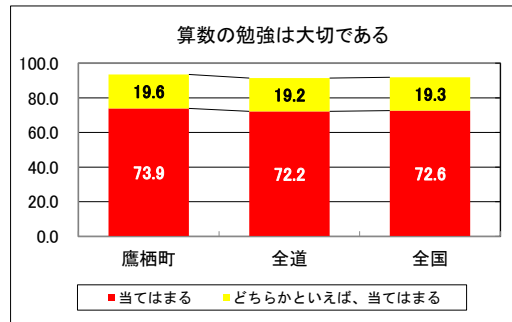
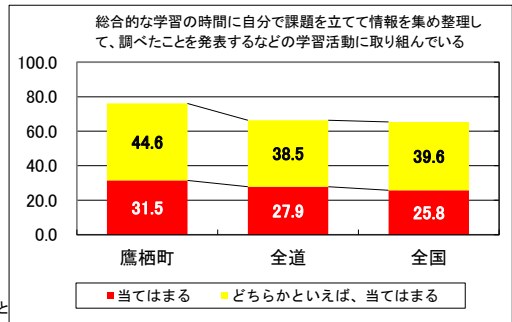
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

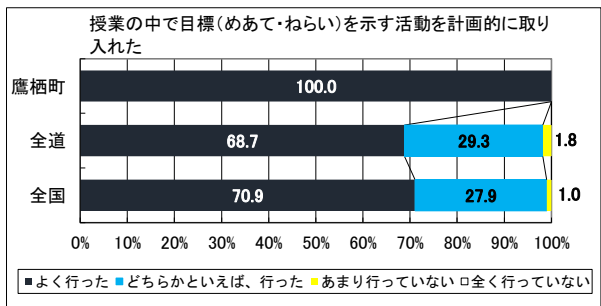
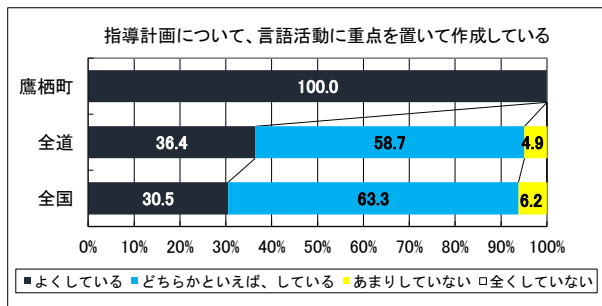
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「書くこと」、Bでは、すべての領域で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で全国を上回っており、Bでは、すべての領域で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「図形」で、全国と同様になっている。	○ 課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習活動を総合的な学習の時間に位置付けたことにより、国語A・Bの「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「総合的な学習の時間に自分で課題を立てて情報を整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ すべての学校が言語活動に重点を置いて指導計画を作成したことにより、国語B、算数Bのすべての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ すべての学校が、「指導計画について、言語活動に重点を置いて作成している」と回答している。 ○ すべての学校が、「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答している。	○ すべての学校が授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れたことが、児童の学力向上につながっている。

【鷹栖町の学力向上策】

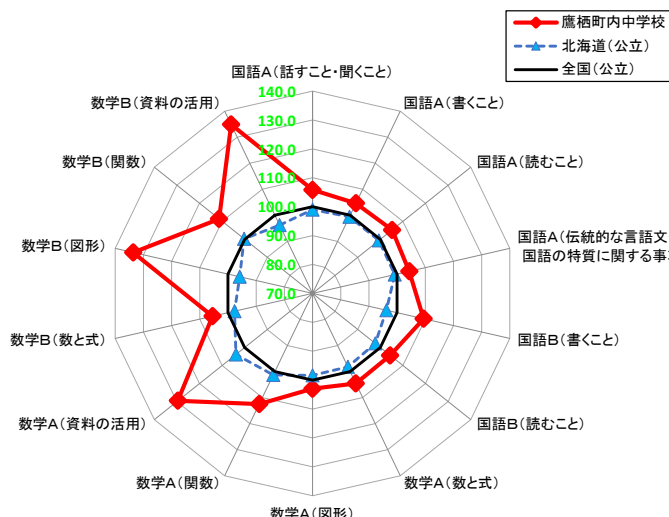
- ◎ 学習支援員の拡充による習熟度別指導及びチーム・ティーチングの推進
- ◎ 放課後等を活用した学習機会の設定及び子どもたち一人一人に応じたきめ細かな指導の実施
- ◎ 望ましい生活習慣の定着をねらいとした生活習慣見直し運動推進プロジェクトの実施

■鷹栖町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:82名)

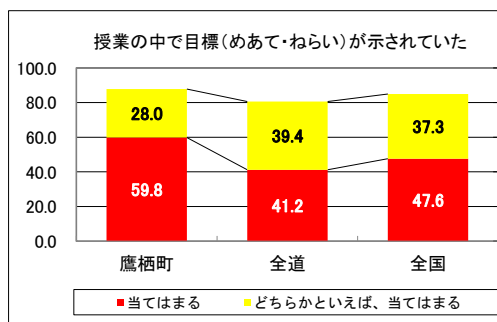
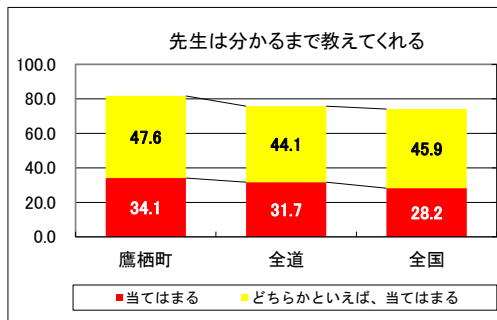
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

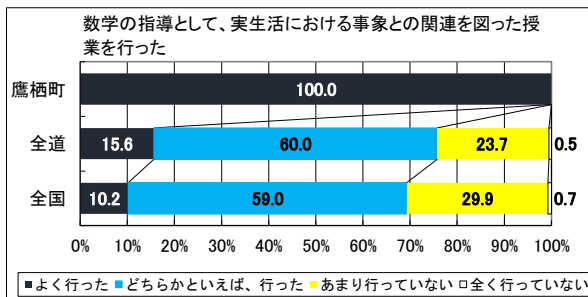
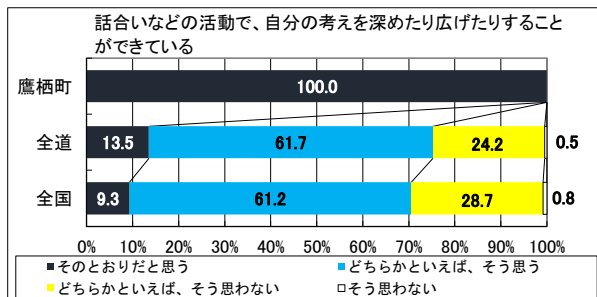
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A・Bでは、すべての領域等で、全国を上回っている。 ○ 数学A・Bでは、すべての領域で、全国及び全道を上回っている。	○ 授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えるなど、個に応じた指導を丁寧に行ったことにより、国語及び数学のすべての領域等で、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 授業の中で学習の目標(めあて・ねらい)を示すことにより、生徒の学習内容の定着が図られている。
学校質問紙	○ 「生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答している。 ○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、数学A・Bのすべての領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。

【鷹栖町の学力向上策】

- ◎ 学習支援員の拡充による習熟度別指導及びチーム・ティーチングの推進
- ◎ 放課後等を活用した学習機会の設定及び子どもたち一人一人に応じたきめ細かな指導の実施
- ◎ 望ましい生活習慣の定着をねらいとした生活習慣見直し運動推進プロジェクトの実施